

令和4年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・パワーポイントを使用し、説明、指示を効率よく行うことができた。
- ・美術活動に対して意欲的な生徒が多い。
- ・安全に授業が受けられるように環境整備を徹底している。

(2) 課題

- ・発想を広げられるような導入や指示を意識する。
- ・進みの遅れが見られる生徒には声掛けを行い、見通しをもって活動できるようにする

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和2年度結果	令和元年度結果	平成30年度結果
第1学年			
第2学年		(第1学年時)	
第3学年		(第2学年時)	(第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
道具の使い方や、制作の流れについてICT機器を活用し、動画やスライドを通じて学び、生徒の理解度が上がった。また、制作の進み具合も速くなった。	色の学習を通して、身の回りのポスターや標示、企業のロゴなどに色の効果が大きく関わっていることを学んだ。制作の際の色選びに役立てることができた。ICT機器を活用し、指示やめあてを明確にすることで見通しをもって制作に取り組むことができた。	授業の規律をしっかりと守り、集中して活動できている。発言する場面では、意欲的に発表することができた。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
技法を正しく学習し、制作にいかすことができた。ICT機器を活用し、指示やめあてを明確にすることで見通しをもって制作に取り組むことができた。	オートマチック技法を通して、偶然できた模様からイメージを膨らませ、表現活動にいかすことができた。ICT機器を活用し、指示やめあてを明確にすることで見通しをもって制作に取り組むことができた。	おもしろそうなもの、目新しい物には興味をもつが、そうではないとまったく興味をしめさないという生徒、苦手意識を持つ生徒、授業に集中できない生徒がいる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
先の見通しをもって計画的に取り組むことができた。ワークシートなどを活用し、自分の作品に合わせた技法を工夫して表現することができた。	決まったテーマの中で自由に表現することができた。生き物から発想を広げてオリジナルキャラクターをデザインすることができた。	意欲的に活動することができた。課題に対して自分なりのこだわりをもって向き合うことができた。自ら進んで課題解決に向けて取り組めた。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
色の学習を通して、身近なものとの結びつきを知り、創造的に表すことができるようにする。	調べ学習を取り入れ、発想のきっかけを作り、美術に対する見方や感じ方を深められるようにする。	課題解決に向けて、試行錯誤してより自分の納得のいく作品に仕上げることの大切さを意識させた。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
短い制作時間の中で計画的に取り組ませる。用具準備や片付けの時間を最小限にできるように普段から意識させておく。	自由に表現することに苦手意識をもつ生徒が多く見受けられる。決まりのなかで最大限表現することでの大切さを身に付けさせる。	課題解決に向けて完成まで計画的に取り組ませる。一人一人の個性を大切に指導する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
制作時間が少ないので、目標をより明確化し全体で課題解決を行わせるように取り組ませる。	発想が浮かばない生徒に対して、ICT 機器を活用した調べ学習や参考作品の提示種類を増やし、活用させる。	授業内で発表する場面をもっと増やし、自分の意見を他者と伝え合う言語活動を増やす。